

第 8 回 栗東市子ども・子育て会議 会議録要旨

日時・場所	平成 27 年 2 月 3 日（火） 午後 6 時 30 分～午後 7 時 30 分 栗東市役所 2 階第 1 会議室
出席委員	明田弘美委員、岩崎洋子委員(会長)、榎戸素子委員、鎌田容子委員、木築野百合委員、柴田美知代委員、田中文三委員、寺井利彦委員(副会長)、夏見きみ子委員、村上順美委員、森和代委員、築田美樹委員、吉永秀哉委員
欠席委員	川村紘一郎委員、田中裕委員、田中康人委員、安井春香委員
事務局	健康福祉部理事、幼児課長、幼児課課長補佐、健康増進課長、子育て応援課長、子育て応援課課長補佐、子育て応援課子育て支援係担当
事 項	1. 開会 2. 市民憲章唱和 3. 挨拶 4. 報告 ○栗東市子ども・子育て支援事業計画（案）パブリックコメント実施結果について 【資料 1】 5. 議事 ○栗東市子ども・子育て支援事業計画（案）について 【資料 2】 6. 閉会

1. 開会

2. 市民憲章唱和

3. 挨拶（会長、健康福祉部理事）

- ・事務局が、委員 17 名中 13 名の出席があり定足数を満たしていることから、本日の会議が成立することを報告した。
- ・事務局が傍聴希望者がいないことを報告した。
- ・事務局が資料の確認を行った。

会長 栗東市子ども・子育て会議は原則公開となっている。本日は傍聴人がいないが、公開ということで進めさせていただくが良いか。

- ・意見なし。これにより、本日の会議はすべて公開となった。

4. 報告

- ・事務局が資料の説明を行った。 **【資料 1】**
- 意見なし。

5. 議事

- ・事務局が資料の説明を行った。 **【資料 2】**

委員 シルバー人材センターについての記載変更をお願いしたい。59 ページの一時預かり事業について、シルバー人材センターの事業があるが、この部分の「予定」というのを削除して欲しい。冊子作成の時点では、国の補助金があるかどうか危ぶまれていたが、補助金がなくても実施することに決定したため、削除をお願いしたい。

事務局 市としても継続していただきたいという思いは伝えてきており、ありがたい支援施策だと考えている。

委員 税金で、栗東市がこれだけ実施するというのを、市民だれもが理解できて、実際に活用できる事業でないと意味がない。いろんな人に理解して、活用してもらえそうな事業にしていくことが行政の仕事であると思う。

委員 この計画すら知らないというのが現役子育て世代である。できるだけ多くの人に伝えてきたが、パブリックコメントが4件と聞くと、実際に見た人が少ないのではないかと思うぐらいである。計画を知らないことと、知っている人も読む気がしないことが問題である。きちんとした計画であり、やむを得ないとは思いますが、漫画を入れるとか、読みやすくするとか、要点だけでも抜粋されたものがあればと思った。

事務局 冊子はこのような形を取っているが、市民向けのダイジェスト版を考えている。分かりやすく、手にとって見てもらえるものと考えていきたい。計画の中身は堅いが、できるだけ多くの人に知ってもらうようにしたい。

委員 最後の70 ページに情報の発信ということを入れていただいている。よろしくをお願いしたい。

委員 パブリックコメントも、幼稚園に貼ってあっても情報が入らないので、保護者はほとんど見ていないと思う。もっと興味を持ってもらうようにすれば、もう少しコメントは寄せられたのではないか。

委員 折角、良いことをしてもらっているのに、知れ渡っていない。いろいろな施策について、広報に載っているという割に知らない。もっといろいろな方法で周知してもらう必要がある。市民も自分の責任で広報を読むなど、情報収集に努めるよう、自覚して欲しいと思った。

会長 子育て支援は全庁的に広げていただきたいと思う。もっと関係する課職員にも参加していただきたい。他課の業務の中でも、ぜひもっと広報していただきたい。

委員 パブリックコメントの結果については、どのように認識されているか。

事務局 学童保育の意見に特化した内容であった。この計画の策定は、全国的に取り組んでいるものであるのもう少し、幅広くご意見をいただくと考えていた。

委員 ただし、市では様々な計画があるが、パブリックコメントを実施しても、最近では意見が0件というのも多い状況である。

委員 人口6万人にしては意見が少ないので、改善の余地はあると思う。その3名の方へはどのような回答をされているのか。

事務局 今日の資料1の内容について、ホームページでお知らせすることとし、パブリックコメント制度としては、個人的に返事はしないことになっている。

- 委員 3名の貴重な意見を大切にしてもらいたい。
ダイジェスト版ということだが、大事なポイントである。今の時点で予定があれば教えて欲しい。
- 事務局 案の内容を抜粋し、A4版で1,000部を作成する予定である。知ってもらえるように努力したい。
- 委員 できるだけ早いタイミングで周知していただきたい。1部でももらえれば、コピーして周知させていただく。
- 会長 早く浸透するようによろしくお願ひしたい。計画はつくって終わりではなく、意見を頂戴しながら、利用者によって高められていくものである。
- 委員 計画は市民のニーズから栗東市の課題はどこにあるかということで作成された。就学前と一口にとらえられるが、乳幼児から幅広くとらえないといけない。就学後へと、一つひとつの世代世代に、しっかりした基本的なことをしていかなければならない。
計画をどのように見直していくのか。評価もしていけないといけない。5年後ではなく、どこで評価するかを考えて欲しい。
もう1つは就学前の保育園、幼稚園が気になる。希望園に入りにくい状況にあるので、安心して生み育てられるよう、途中からでも入所できるキャパシティを考え、保育士の確保とともに安心して保育を受けられるよう、それぞれの立場で考えていただきたい。関係機関の連携をもって、やっていっていただきたい。
- 会長 この計画は、子どもたちに栗東市の未来を「託す」のだと思う。栗東で育てられて良かったという思いにつながるように、評価を含めてよろしくお願ひしたい。
- 委員 市民に知らしめようという情熱が足りない気がする。結果的に、既存のサービスの継続に終わっており、新しい制度だというアピールが少ない。例えば、病後児保育について、1つの案として、3回分ぐらい無料券を配るとか、新しいてこ入れが欲しい。それがアピールであり、病気になるのが予想できない中で、本当に現在の2名定員で良いのか、アピールすれば利用者の評価にもつながる。インフルエンザの子どもを預かると、もう1人はお断りしなければならない。折角、草津市と合わせて2か所あるのだから、草津市と栗東市とで分担できれば、感染症とそれ以外の病気に分けることで、お断りしている人も預かることができる。ここから工夫することで、新しい制度で、新しい市民サービスになる。机上で終わらず、実際に市民の役に立つことを考えて欲しい。我々も協力するので、皆さん頑張りましょう。
- 委員 4月からの入園にあたり、申請書に「新制度スタート」と書かれており、保護者からはどんなことをしてくれるのか、という質問があった。「検討中であり、大きくは変わらない」と答えていた。園だよりではパブリックコメントのお知らせもした。
ダイジェスト版については、内閣府の「すくすくジャパン」のような感じで作っていただいて、安心して子育てできるというのが分かるものが保護者に配れたらと思う。良くまとめてくださり、感謝している。
- 委員 パブリックコメントをいただきたいにもかかわらず、あまり周知されていないのを感じる。広報のお知らせ版を見たが、これだけしか書いていないのかと思った。何のことなのかが分かりにくかった。内容が分かる

会長 ように出してもらった方が、意見が多かったと思う。パブリックコメントの結果で、学童保育の質の向上があったが、場所だけではなく、携わる人の研修もして、両面で質を向上していただきたいと思う。県の研修については、栗東市独自でも参加して、学童保育の質の向上につなげていただきたい。

委員 ひとり親家庭福祉推進員としては、平成 27 年度から 1 か所で何らかの方法でショートステイは必要と思うので、できれば良いと思う。一時預かりについては、私の孫も 12 月までは利用できていたそうだが、1、2 月はキャンセル待ちという。困っている人にとっては子育て支援にならない。申し込み順か、優先順位かは分からないが、今の法人だけでなく、もう少し幅広くしてもらえるとありがたい。

会長 今日まで厳しい意見をたくさんいただいたが、計画案についてご理解をいただけたということにしてもよいか。

・一同了承。

会長 では、ご理解いただけたということにさせていただきます。
1 年半にわたる会議で今日に至った。お礼申し上げたい。

事務局 今後は、総合調整会議において計画を確定し、3 月の市議会に報告する。今年度はこの会議で最後となる。来年度以降、施策の点検・評価のための会議を年 2 回程度行う予定である。委員改選にあたり、引き続きお願いすることもあるので、よろしく願いしたい。

6. 閉会

副会長 平成 25 年 8 月から長期間にわたりご意見をいただき感謝申し上げます。4 月から条例を施行し、計画が始まるが、ここからがスタートである。できた計画については広く市民に周知し、意見をいただき、評価につなげていきたい。計画がまとまったことに対し、お礼申し上げたい。

以上。